

計算書類に対する注記(23年度)

1.重要な会計方針

①有価証券の評価基準および評価方法について

取得原価である

②固定資産の減価償却について

定額法で取得価額より直接償却してある。

会計ソフトについては新ソフト導入により、全額償却した。

電話債券については、時価相当分を除いて全額償却した。

③福利厚生引当金の計上基準について

事務局員の利便および健康増進に寄与するもの。

④消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。

⑤基本財産及び特定預金の利息の扱いについて

基本財産及び特定預金の利息分は、流動資産に振り替える。

2.基本財産の増減額及びその残高

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
預 金	1,000,000	0	0	1,000,000
小 計	1,000,000	0	0	1,000,000
合 計	1,000,000	0	0	1,000,000

3.固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
備 品	941,292	784,503	156,789
合 計	941,292	784,503	156,789

取得価額は、個々の資産の取得価額の合計価額である。

当期は備品の購入は行わなかった。

4.電話加入権の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
電話加入権	160,000	154,000	6,000
合 計	160,000	154,000	6,000